

潤いを未来に

たかとき川

2002・Vol.25

特・集

きれいな水を求めて
小川、井戸水、湧水利用から水道へ
湖北の「水」と生活を振り返る

丹生ダム建設 季刊

たかとき川

2002・Vol.25

発行：(財)水資源協会

編集：(財)水資源協会 丹生ダム建設所 広報誌編集係

史を秘めし 浄へ紅葉の さしのぞく
秋のぞく
紅葉
秋翠

丹生ダムからのお知らせ

丹生ダムホームページ <http://www.water.go.jp/kansai/niu>

丹生ダムの環境保全対策

今回は、工事濁水の流出防止についてお知らせします。丹生ダム建設事業では、現在、道路工事を実施しています。道路工事の場所から濁った水が流れ出して、魚などに悪い影響を与えてしまうことが懸念されます。そのようなことが無いように、丹生ダムでは、濁水が川へ流れ込まないように努めています。丹生ダムは、今後とも環境の保全に配慮して、工事を進めていきます。

- ・沈泥池を設けて、工事現場からの濁水を一時的に貯留して、きれいにしてから川に流します。
- ・大型土のうや濁水フェンスで工事現場を囲んで、濁水が川に流れ出ないようにします。
- ・濁水処理設備という機械で、濁水をきれいにしてから川に流します。



EVENT

11月下旬

余呉湖ワカサギ釣り解禁

- 場所/余呉湖
- 問い合わせ先/余呉湖漁業協同組合 ☎0749-86-3033

11月17日(日)

己高庵 紅葉茶会

- 場所/己高庵
- 内容/紅葉美しい己高の里で、気軽に楽しんでいただけるお茶会です。
- 問い合わせ先/己高庵 ☎0749-82-6020

11月30日(土)~12月1日(日)

湖北町環境フェア

- 場所/湖北町文化交流センター
- 問い合わせ先/湖北町役場企画課 ☎0749-78-1001

12月8日(日)

虎姫町人権トークコンサート

- 場所/虎姫町生きがいセンター文化ホール
- 内容/第1部:関島秀樹コンサート 第2部:チェリッシュコンサート
- ※入場整理券が必要
- 問い合わせ先/虎姫町生涯学習課 ☎0749-73-2273

QUIZ

このコーナーでは、毎回、クイズに正解された皆さんの中から、抽選で10名様にプレゼントをお送りしています。

今回のクイズは...

昭和30年代に〇〇が整備され、気になる金気や水を汲んでくる重労働から解放されました。さて〇〇とは何でしょうか？

皆さんからのたくさんのご応募をお待ちしています。

【クイズ解答のあて先】

クイズの解答は、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記の上、下記のあて先までハガキでお送りください。また「たかとき川」へのご意見、ご感想等がございましたら、あわせてご記入下さい。

〒529-0522 滋賀県伊香郡余呉町坂口819
水資源開発公団 丹生ダム建設所 広報誌クイズ係
☎ 0749-86-3800
*クイズの締切は平成14年11月30日(土)付消印まで有効です。

【たかとき川・24号】のクイズの答え 【木】

前号のクイズに多数の御応募ありがとうございました。抽選の結果、下記の方々当選されました。

クイズ当選者 (応募総数121枚)

- 岡本 雅子様 丹下まさ子様 西島 君子様 村井栄太郎様
- 河瀬和二郎様 寺田きく子様 古江 稔様 吉川 正春様
- 川村 正樹様 中川 純子様

●この広報誌「たかとき川」は再生紙を使用しております。

11月15日(金)~17日(日)

「第33回小樽・敦賀・長浜三市物産展」

- 場所/長浜市街地一帯
- 内容/名産が並ぶ物産展
- 問い合わせ先/長浜商工会議所 ☎0749-62-2500

11月16日(土)・17日(日)・23日(土)・24日(日)

「秋の北びわこ周遊観光」

- 内容/北びわこをバスで巡るコースを設定
17日・24日に「S.L.北びわこ号」の運行
- 問い合わせ先/滋賀県庁交通政策課 ☎077-528-3680
(社)滋賀県観光連盟 ☎077-523-2752

長浜市

その他

民話 シリーズ① 蛇溜池

山の近くに広がる名越(長浜市名越町)の水田は毎年のように用水が不足して困っていました。そこで村人達は大変苦勞して四つの溜池を造り、そのお陰で良い米をとることができるようになりました。ところが、この溜池の内の一つに蛇が住み着きました。

ある年のこと、百日の大干ばつでどの溜池も水が枯れてしまい、お百姓達は途方にくれてしまい「雨乞い」をするより他に方法がありませんでした。

その時、一人のお百姓が夢のお告げを受けました。お百姓さっそく家宝の掛け軸を持ち出して、この蛇が住む溜池の真中に立て、多くの村人達と懸命のお祈りをしました。すると不思議にも水が湧き出て、溜池は見る見るうちに水が溢れるばかりになりました。村人達は小躍りして喜びました。ところが水に浸かったその掛け軸の下半分は、どこかに消えてなくなってしまったそうです。(「長浜の伝承」より)

編集後記

今回お話を聞かせてくださった皆さんは、水道のない時代を経験された方々です。お話を伺う中で、水道が普及した今でも水に感謝し、水を汚さず大切に使う意識を強く感じました。

幼い頃から当たり前のように水道水を使っている私は、水への感謝を忘れていたような気がして反省しました。水は限りあるものです。飲み水、洗濯、お風呂などの日常生活はもちろん、畑や田、工場など様々な場所でもなくてはならないものです。皆さんも、節約できる所を自分なりに工夫してみませんか。

一滴の水にも感謝の気持ちを持っていてほしいですね。

俳句/史を秘めし 浄へ紅葉の さしのぞく
表紙撮影/余呉町下丹生・奥村正利